



TimeCardView 7.0 コマンド リファレンス

TimeCardView 7.0 Command Reference

初版発行：2009 年 1 月

最終更新：2009 年 1 月 21 日

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。**

**本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、
正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、
弊社担当者にご確認ください。**

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を負わないものとします。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0812R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

TimeCardView 7.0 コマンドリファレンス

© 2009 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2009, シスコシステムズ合同会社 .

All rights reserved.



CONTENTS

TimeCardView ソフトウェアの使用方法	1
コマンド モードについて	1
コマンド環境の開始	2
前提条件	2
ヘルプの利用方法	3
コマンドの no 形式と default 形式の使用方法	4
設定変更の保存	4
サポートされるプラットフォームの確認	5
TimeCardView コマンド	7
copy timecardview timesheets url	9
daily	11
database purge schedule days	13
disable (TimeCardView ユーザ設定モード)	15
enable (TimeCardView 設定モード)	17
enable (TimeCardView ユーザ設定モード)	18
groupname tcv-payroll-specialists	20
groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll	22
maxsessions	23
notification email address	25
payroll server quickbooks address	27
payroll server synchronization schedule	29
service timecardview	31
service timecardview purge now	32
service timecardview session terminate	34
service timecardview synchronize now	35
session-expiry-time	36
shift limit	37
show supervisor	39
show supervisors	41
show timecardview configuration	43

show timecardview sessions	45
show timecardview status	46
show timecardview users	48
show user detail username	49
show user supervisor username	51
timecardview username	53
user-interface phone-call	55
user-interface phone-service	56
username	57
username (E ページ)	59
week-start day	61



TimeCardView ソフトウェアの使用方法

このマニュアルでは、TimeCardView の設定モード コマンド、および TimeCardView に関連する Cisco Unity Express のコマンドについて説明します。

この章では、TimeCardView ソフトウェアを理解し、コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して設定する際に役立つヒントを示します。この章は、次の項で構成されています。

- [コマンド モードについて \(P.1\)](#)
- [コマンド環境の開始 \(P.2\)](#)
- [ヘルプの利用方法 \(P.3\)](#)
- [コマンドの no 形式と default 形式の使用方法 \(P.4\)](#)
- [設定変更の保存 \(P.4\)](#)
- [サポートされるプラットフォームの確認 \(P.5\)](#)

コマンド モードについて

TimeCardView CLI コマンドの構造は、Cisco IOS CLI コマンドの構造に似ています。ただし、TimeCardView CLI コマンドは Cisco IOS の設定に影響を及ぼしません。

TimeCardView は Cisco Unity Express のアドオン パッケージとして使用でき、この 2 つはサービス モジュール上で共存するため、TimeCardView にアクセスするには Cisco Unity Express モジュールにログインします。Cisco Unity Express モジュールにログインすると、コマンド環境は Cisco IOS 環境ではなくなります。

Cisco Unity Express コマンド環境には次の 2 つのモードがあります。

- **Cisco Unity Express EXEC** : Cisco Unity Express コマンド環境にログインした後のモードです。Cisco Unity Express EXEC コマンドは、さまざまな点でシステム パラメータに影響を及ぼします。パラメータ値の表示またはクリア、システム全体の停止または開始、トラブルシューティング手順の開始だけを行うコマンドもあります。ただし、Cisco IOS EXEC モードとは違って、Cisco Unity Express EXEC モードには、パラメータ値を変更するコマンドがいくつかあります。これらの変更は、スタートアップ コンフィギュレーションではなく、モジュールのフラッシュ メモリに保存されます。これによって、停電やディスク障害などの破局的な出来事が発生した場合に利用できる最低限の情報がシステムに保持されます。
- **Cisco Unity Express 設定** : システム設定を変更できるモードです。変更は実行コンフィギュレーションに保存されます。後で実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに保存すると、設定コマンドによる変更は、ソフトウェアの再起動時に再び有効になります。

Cisco Unity Express 設定モードには、複数のサブ設定レベルがあります。グローバル設定モードは、コマンド環境を EXEC から 設定に変更します。このレベルでは、多数のソフトウェアパラメータを変更できます。しかし、特定の設定コマンドを使用すると、環境がより限定された設定モードに変更され、システムに対する変更を入力できるようになります。たとえば、**service timecardview** コマンドは、環境を **config** から **config-timecardview** に変更します。この時点で、アプリケーションのパラメータ値を入力したり変更したりできます。

利用できるコマンドは、そのときのモードによって異なります。CLI プロンプトで疑問符 (?) を入力すると、各コマンドモードで利用できるコマンドのリストが表示されます。このコマンドリファレンスの説明には、各コマンドの環境モードが示されています。

表 1 に、Cisco Unity Express ソフトウェアのさまざまな共通コマンドモードへのアクセス方式および終了方式を示します。また、各モードで表示されるプロンプトの例も示します。

表 1 コマンドモードのアクセス方式と終了方式

コマンドモード	アクセス方式	プロンプト	終了方式
Cisco Unity Express EXEC	Cisco Unity Express ソフトウェア プロンプトが表示されたら、 enable コマンドを入力します。	se-10-0-0-0#	exit コマンドを使用するか CTRL+SHIFT+6 キーを押して、 x を入力します。
Cisco Unity Express 設定	EXEC モードで、 configure terminal コマンドを使用します。	se-10-0-0-0(config)#	設定モードから EXEC モードに戻るには、 end コマンドまたは exit コマンドを使用します。
TimeCardView 設定	Cisco Unity Express 設定モードで、 service timecardview コマンドを使用します。	se-10-0-0-0(config-timecardview)#	Cisco Unity Express 設定モードに戻るには、 end コマンドまたは exit コマンドを使用します。
TimeCardView ユーザ設定	Cisco Unity Express 設定モードで、 timecardview username コマンドを使用します。	se-10-0-0-0(config-tvuser)#	Cisco Unity Express 設定モードに戻るには、 end コマンドまたは exit コマンドを使用します。

コマンド環境の開始

コマンド環境を開始するには、次の手順を使用します。

前提条件

コマンド環境の開始に必要な情報は次のとおりです。

- Cisco Unity Express モジュールが格納されているルータの IP アドレス
- ルータにログインするためのユーザ名およびパスワード
- モジュールのスロット番号

概略手順

1. telnet セッションを開きます。
2. telnet *ip-address*

3. ルータのユーザ ID およびパスワードを入力します。
4. **service-module service-engine slot/port session**
5. **enable**

詳細手順

コマンドまたは操作	目的
ステップ 1 telnet セッションを開きます。	DOS ウィンドウ、セキュア シェル、またはソフトウェア エミュレーション ツール (Reflection など) を使用します。
ステップ 2 <code>telnet ip-address</code> 例 : <code>C:¥> telnet 172.16.231.195</code>	Cisco Unity Express モジュールを格納しているルータの IP アドレスを指定します。
ステップ 3 Username: Password:	ルータのユーザ ID およびパスワードを入力します。
ステップ 4 <code>service-module service-engine slot/port session</code> 例 : <code>Router# service-module service-engine 1/0 session</code>	指定した <i>slot</i> と <i>port</i> に配置されているモジュールを使用して、Cisco Unity Express コマンド環境を開始します。プロンプトが「se」に変化し、Cisco Unity Express モジュールの IP アドレスが表示されます。 注 メッセージ が表示された場合は、コマンド を入力し、このステップを再実行します。
ステップ 5 <code>enable</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# enable</code>	Cisco Unity Express EXEC モードを開始します。これで設定タスクを開始できます。

ヘルプの利用方法

CLI プロンプトで疑問符 (?) を入力すると、各コマンド モードで利用できるコマンドのリストが表示されます。状況依存ヘルプ機能を使用して、コマンドに関連するキーワードと引数のリストを表示することもできます。

コマンド モード、コマンド、キーワード、または引数に固有のヘルプを参照するには、次の表 2 に記載されているコマンドのいずれかを使用します。

表 2 ヘルプ コマンド

コマンド	目的
<code>help</code>	コマンド モードのヘルプ システムについて簡単な説明を示します。
<code>abbreviated-command-entry?</code>	特定の文字列で始まるコマンドのリストを示します。コマンドと疑問符の間にスペースを入力しないでください。
<code>abbreviated-command-entry<Tab></code>	不完全なコマンド名を補完します。

表 2 ヘルプコマンド (続き)

コマンド	目的
?	特定のコマンドモードで利用できるすべてのコマンドのリストを示します。
<i>command</i> ?	コマンドラインで次に入力する必要があるキーワードまたは引数のリストを示します。コマンドと疑問符の間にスペースを入力します。

コマンドの no 形式と default 形式の使用法

コマンドの **no** 形式が使用できる場合は、この形式を使用して機能を無効します。**no** キーワードを指定せずにコマンドを使用すると、無効にした機能を再び有効にしたり、デフォルトで無効な機能を有効にしたりできます。各コマンドのコマンドリファレンス項目では、設定コマンドの完全なシンタックスと、コマンドの **no** 形式の機能について説明します。

設定コマンドには、コマンドの設定をデフォルト値に戻す **default** 形式がある場合があります。機能がデフォルトで無効なコマンドで **default** 形式を使用すると、コマンドの **no** 形式を使用した結果と同じになります。ただし、機能がデフォルトで有効になっていて、変数が特定のデフォルト値に設定されているコマンドもあります。この場合にコマンドの **default** 形式を使用すると、機能が有効になり、変数がデフォルト値に設定されます。コマンドの機能が **no** 形式と異なる場合、コマンドリファレンス項目に **default** 形式の結果が説明されていることがあります。

設定変更の保存

Cisco Unity Express EXEC モードで、次のコマンドを使用して、フラッシュ メモリ内の実行コンフィギュレーションを別の場所にコピーします。

```
copy running-config {ftp:user-id:password@ftp-server-address [/directory] |
startup-config | tftp:tftp-server-address} filename
```

キーワードまたは引数	説明
ftp:user-id:password@	FTP サーバのユーザ名およびパスワード。エントリにコロン (:) とアットマーク (@) を含めます。
<i>ftp-server-address</i>	FTP サーバの IP アドレス。
<i>/directory</i>	(オプション) コピーされたファイルが格納される FTP サーバ上のディレクトリ。使用する場合は、ディレクトリ名の前にスラッシュ (/) を入力します。
startup-config	フラッシュ メモリ内のスタートアップ コンフィギュレーション。
tftp:tftp-server-address	TFTP サーバの IP アドレス。
<i>filename</i>	コピーされた実行コンフィギュレーションを格納するコピー先ファイルの名前。

実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーするときは、コマンドを 1 行で入力します。次の例で、実行コンフィギュレーションは **start** ファイルとしてスタートアップ コンフィギュレーションにコピーされます。この操作では、コマンドを 1 行で入力します。


```
se-10-0-0-0# copy running-config startup-config start
```

FTP サーバまたは TFTP サーバにコピーする場合は、このコマンドはインタラクティブになり、ユーザに情報の入力を求めます。パラメータは 1 行では入力できません。次の例は、このプロセスを示しています。次の例では、実行コンフィギュレーションが FTP サーバにコピーされます。FTP サーバはユーザ名とパスワードを要求します。FTP サーバの IP アドレスは 172.16.231.193 です。実行コンフィギュレーションは、configs ディレクトリに saved_start ファイルとしてコピーされます。

```
se-10-0-0-0# copy running-config ftp:
Address or name of remote host? admin:voice@172.16.231.193/configs
Source filename? saved_start
```

サポートされるプラットフォームの確認

Cisco IOS ソフトウェアは、特定のプラットフォームをサポートするソフトウェア イメージで構成されるフィチャセットにパッケージ化されています。Cisco Unity Express ネットワーク モジュールをサポートするためには、特定のソフトウェア イメージが必要です。特定のプラットフォームで利用できるフィチャセットは、リリースに含まれる Cisco IOS ソフトウェア イメージによって異なります。特定のリリースで利用できるソフトウェア イメージのセットを確認したり、機能が所定の Cisco IOS ソフトウェア イメージで利用できるかどうかを確認したりするには、URL <http://tools.cisco.com/ITDIT/CFN/jsp/index.jsp> の Cisco Feature Navigator を参照してください。

■ サポートされるプラットフォームの確認



TimeCardView コマンド

このマニュアルには、TimeCardView 設定モード コマンド、および TimeCardView に関連する Cisco Unity Express コマンドが記載されています。

[copy timecardview timesheets url \(P.9\)](#)
[daily \(P.11\)](#)
[database purge schedule days \(P.13\)](#)
[disable \(TimeCardView ユーザ設定モード\) \(P.15\)](#)
[enable \(TimeCardView 設定モード\) \(P.17\)](#)
[enable \(TimeCardView ユーザ設定モード\) \(P.18\)](#)
[groupname tcv-payroll-specialists \(P.20\)](#)
[groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll \(P.22\)](#)
[maxsessions \(P.23\)](#)
[notification email address \(P.25\)](#)
[payroll server quickbooks address \(P.27\)](#)
[payroll server synchronization schedule \(P.29\)](#)
[service timecardview \(P.31\)](#)
[service timecardview purge now \(P.32\)](#)
[service timecardview session terminate \(P.34\)](#)
[service timecardview synchronize now \(P.35\)](#)
[session-expiry-time \(P.36\)](#)
[shift limit \(P.37\)](#)
[show supervisor \(P.39\)](#)
[show supervisors \(P.41\)](#)
[show timecardview configuration \(P.43\)](#)
[show timecardview sessions \(P.45\)](#)
[show timecardview status \(P.46\)](#)
[show timecardview users \(P.48\)](#)
[show user detail username \(P.49\)](#)
[show user supervisor username \(P.51\)](#)
[timecardview username \(P.53\)](#)

[user-interface phone-call \(P.55\)](#)
[user-interface phone-service \(P.56\)](#)
[username \(P.57\)](#)
[username \(E ページ\) \(P.59\)](#)
[week-start day \(P.61\)](#)

copy timecardview timesheets url

CSV ファイルを生成し、以降の処理のために FTP サーバにコピーするには、**copy timecardview timesheets url** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

copy timecardview timesheets url url

シンタックスの説明	url url 引用符で囲まれた URL (Universal Resource Location)。たとえば、 <code>"ftp://ftp.nowhere.com/dir/filename"</code> などです。				
コマンドのデフォルト	このコマンドにデフォルトの値はありません。				
コマンドモード	Cisco Unity Express EXEC (#)				
コマンドの履歴	<table><thead><tr><th>Cisco Unity Express バージョン</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>7.0</td><td>このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。</td></tr></tbody></table>	Cisco Unity Express バージョン	変更内容	7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。
Cisco Unity Express バージョン	変更内容				
7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。				
使用上のガイドライン	<p>このコマンドを入力すると、FTP サーバで匿名ログインが許可されている場合を除き、ユーザ名とパスワードの入力が求められます。</p> <p>この CSV ファイルをカスタマイズして新しい種類のタイムシート レポートを作成できます。ファイルには、次のフィールドがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 従業員の user-id• 就業日• 就業時間 (hh:mm:ss)• 昼食時間 (hh:mm:ss)• 休憩時間 (hh:mm:ss)• 時間外就業時間 (hh:mm:ss)• 承認• 承認日時• 承認者の user-id• 修正日時• 備考• 同期				

例

次の例は、タイムシートを FTP サーバにコピーする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# copy timecardview timesheets url ftp://ftp.nowhere.com/dir/  
username: user
```

copy timecardview timesheets url

```
password: pwd
% Total      % Received % Xferd  Average Speed   Time    Time     Time  Current
           Dload  Upload   Total     Spent    Left     Speed
  0   24    0     0     0    24      0     64  ---:--:--  ---:--:--  ---:--:--    0
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
daily	TimeCardView ユーザの標準就業時間、時間外就業時間を制限します。
shift limit	TimeCardView ユーザの就業時間、昼食時間、および休憩時間を制限します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
show timecardview users	TimeCardView のユーザを表示します。

daily

従業員が1日に就業できる標準就業時間および時間外就業時間を制限するには、**daily** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。従業員の標準就業時間および時間外就業時間の制限を解除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
daily { working-duration minutes 1-1440 | overtime-duration minutes 0-1440 }
```

シンタックスの説明

overtime-duration minutes 0 ~ 1440 従業員が就業できる最大時間外就業時間（分単位）。

working-duration minutes 1 ~ 1440 従業員が就業できる最大標準就業時間（分単位）。

コマンドのデフォルト

従業員は、1日あたり最大 24 時間、標準時間で就業できます。この場合、時間外就業時間は 0 時間となります。

コマンドモード

TimeCardView 設定（config-timecardview）

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

これらのパラメータのいずれも設定しない場合、従業員は1日に最大 24 時間就業できます。ただし、すべての時間が標準就業時間としてログに記録されます。

従業員が制限時間に達してもログアウトしない場合、従業員が再度ログインしてステータスを変更することを防止するために、従業員のステータスはロックされます。従業員のアカウントのロックを解除できるのは、従業員の上司だけです。

従業員が就業できる標準就業時間を制限し、時間外就業時間（範囲：0 ~ 24 時間）を 0 時間に設定すると、従業員は時間外就業できません。

従業員が就業できる標準就業時間を制限し、時間外就業時間の制限を設定しない場合、標準就業時間の制限を超えて就労した時間は、自動的に時間外就業時間になります。

例

次の例は、就業時間と時間外就業時間を設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# daily working-duration minutes 1300
se-10-0-0-0(config-timecardview)# daily overtime-duration minutes 90
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
[...]Maximum Daily Working Duration (mins): 1300
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 90
[...]
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy timecardview timesheets url	CSV ファイルを生成し、FTP サーバにコピーします。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
shift limit	TimeCardView ユーザの就業時間、昼食時間、および休憩時間を制限します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。

database purge schedule days

TimeCardView のデータベース パージ スケジュールおよびデータを保持する最低日数を設定するには、**database purge schedule days** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

database purge schedule days 1-365 days-to-keep 0-364

シンタックスの説明

days 1 ~ 365	パージ実施間隔（日数）。
days-to-keep 0 ~ 364	データを保持する最低日数。この日数は、パージ実施間隔の日数よりも少なくする必要があります。

コマンドのデフォルト

TimeCardView は、データベースを 90 日ごとにパージします。

TimeCardView は、データを 30 日間保持します。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- TimeCardView は、データベースがいっぱいになるか、パージがスケジュールされている日時になると、データベースをパージします。
- システムは、毎日午後 11 時 30 分にデータベースをチェックします。データベースの使用率が 70%、80%、85% に達すると、そのたびに通知 E メールが送信されます（そのように設定されている場合）。データベースの使用率が 90% に達すると、システムはレコードを古い順に 70% 削除し、新しい順に 20% 保持します。
- パージ処理には時間がかかる可能性があるため、このタスクはバックグラウンドで実行されます。パージの進捗状況を確認するには、**show timecardview status** コマンドを使用します。



注 また、TimeCardView データは [service timecardview purge now](#) コマンドを使用して手動でもパージできます。

例

次の例は、パージ実施間隔（日数）およびデータの最低保持日数を設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# database schedule days 90 days-to-keep 30
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
[...]
Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
```

database purge schedule days

```
Purge Time: 00:30
[...]
Notification Email(s):
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy timecardview timesheets url notification email address	CSV ファイルを生成し、FTP サーバにコピーします。 データベースの使用率がしきい値に達した場合やデータベースのパージが発生した場合に、指定した E メール受信者に TimeCardView が自動的に通知するように設定します。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
service timecardview purge now	TimeCardView データベースの即時パージを実行します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

disable (TimeCardView ユーザ設定モード)

個々のユーザに対して TimeCardView サービスを無効にするには、**disable** コマンドを TimeCardView ユーザ設定モードで使用します。

disable

シンタックスの説明

このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト

個々の Cisco Unity Express 登録者に対する TimeCardView サービスは、デフォルトで無効になっています。

Intuit QuickBooks からインポートした従業員に対する TimeCardView サービスはデフォルトで有効になっています。

コマンド モード

TimeCardView ユーザ設定 (config-tvuser)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

TimeCardView はデフォルトで全体に有効になっていますが、Cisco Unity Express 登録者を TimeCardView ユーザに追加するには、個別に有効にする必要があります。

QuickBooks からインポートした TimeCardView ユーザを個別に有効にする必要はありません。ただし、無効にすること（また、有効に戻すこと）は可能です。

例

次の例は、Cisco Unity Express ユーザ ID で指定した個々のユーザに対する TimeCardView サービスを無効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# timecardview username theirname1
se-10-0-0-0 (config-tvuser)# disable
se-10-0-0-0 (config-tvuser)# end
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview users
theirname1 [Disabled]
1 total timecardview user(s)
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable (TimeCardView ユーザ設定モード)	ユーザごとに TimeCardView サービスを有効にします。

コマンド	説明
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。

enable (TimeCardView 設定モード)

すべてのユーザに対して TimeCardView サービスを全体に有効にするには、**enable** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。すべてのユーザに対して TimeCardView サービスを全体に無効にするには、このコマンドの **no** 形式を TimeCardView 設定モードで使用します。

enable

no enable

シンタックスの説明

このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト

Cisco NME-CUE でインストールおよびアクティブ化を行うと、TimeCardView はデフォルトで全体に有効になります。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

TimeCardView データベースの即時パージを実行した場合は、サービスを全体に有効にする必要があります。

例

次の例は、TimeCardView サービスを全体に有効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# enable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview status
Service: Enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
service timecardview purge now	TimeCardView データベースの即時パージを実行します。
show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

enable (TimeCardView ユーザ設定モード)

個々のユーザに対して TimeCardView サービスを有効にするには、**enable** コマンドを TimeCardView ユーザ設定モードで使します。

enable

シンタックスの説明

このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト

個々の Cisco Unity Express 登録者に対する TimeCardView サービスは、デフォルトで無効になっています。

Intuit QuickBooks からインポートした従業員に対する TimeCardView サービスはデフォルトで有効になっています。

コマンドモード

TimeCardView ユーザ設定モード (config-tvuser)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

TimeCardView はデフォルトで全体に有効になっていますが、Cisco Unity Express 登録者を TimeCardView ユーザに追加するには、個別に有効にする必要があります。

QuickBooks からインポートした TimeCardView ユーザを個別に有効にする必要はありません。ただし、無効にすること（また、有効に戻すこと）は可能です。

例

次の例は、個々のユーザに対して TimeCardView サービスを有効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# timecardview username theirname1
se-10-0-0-0(config-tvuser)# enable
se-10-0-0-0(config-tvuser)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview users
theirname1 [Enabled]
1 total timecardview user(s)
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
disable (TimeCardView ユーザ設定モード)	指定した個々のユーザに対して TimeCardView サービスを無効にします。

コマンド	説明
<code>show timecardview users</code>	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
<code>timecardview username</code>	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。

groupname tcv-payroll-specialists

TimeCardView 給与管理者を作成するには、**groupname tcv-payroll-specialists** コマンドを Cisco Unity Express 設定モードで使用します。

```
groupname tcv-payroll-specialists { member user-id | owner user-id }
```

シンタックスの説明

member <i>user-id</i>	TimeCardView 給与管理者のユーザ名。 <i>user-id</i> は大文字と小文字を区別します。
owner <i>user-id</i>	給与管理者グループを管理する TimeCardView 給与管理者のユーザ名。 <i>user-id</i> は大文字と小文字を区別します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

Cisco Unity Express 設定 (config)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

使用上のガイドライン

- このコマンドを使用して、給与管理者のグループにオーナーとメンバーを割り当て、給与管理者を作成します。
- TimeCardView システムに存在しないユーザは給与管理者として指定できません。存在しないユーザを指定すると、エラーメッセージが表示されます。
- 1 つのグループに複数のオーナーを割り当てることができます。

例

次の例は、給与管理者のグループにオーナーとメンバーを追加し、設定を確認する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists owner theirname1
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists member theirname2
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show user detail username theirname1
Username:          theirname1
Full Name:         Joe Theirname
First Name:        Joe
Last Name:         Theirname
Nickname:          Joe Theirname1
Phone:
Phone (E.164):
Fax:
Email:
```



```

Epage:
Language:          systemDefault
GroupMember:      <none>
GroupOwner:       tcv-payroll-specialists
Privileges:       <none>
se-10-0-0-0# show user detail username theirname2
Username:         theirname2
Full Name:        Jane Theirname
First Name:       Jane
Last Name:        Theirname
Nickname:         Jane Theirname2
Phone:
Phone (E.164) :
Fax:
Email:
Epage:
Language:          systemDefault
GroupMember:      tcv-payroll-specialists
GroupOwner:       <none>
Privileges:       tcv-payroll
se-10-0-0-0#

```

関連コマンド

コマンド	説明
groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll	グループに TimeCardView 給与管理者特権を与えます。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
show user detail username	TimeCardView ユーザ特権に関連する詳細を表示します。

groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll

給与管理者特権をグループに与えるには、**groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll** コマンドを Cisco Unity Express 設定モードで使用します。

groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll

シンタックスの説明

このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

Cisco Unity Express 設定 (config)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン 変更内容

7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。
-----	---

使用上のガイドライン

TimeCardView 給与管理者のグループにオーナーやメンバーを追加する前に、この特権を与えます。

例

次の例は、給与管理者特権をグループに与える方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists owner theirname1
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists member theirname2
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
groupname tcv-payroll-specialists	給与管理者のグループにオーナーとメンバーを割り当て、給与管理者を作成します。
show user detail username	TimeCardView ユーザのリストを表示します。

maxsessions

TimeCardView セッションの最大数を設定するには、**maxsessions** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

maxsessions *number*

シンタックスの説明

maxsessions *number* セッションの最大数。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

TimeCardView セッション数の範囲は、2 からプラットフォームで許可されるセッションの最大数までです。セッションのデフォルト数および最大数は、プラットフォームにより異なります。詳しくは、表 1 を参照してください。

表 1 プラットフォームごとのセッション数

プラットフォーム	セッションの最大数またはデフォルト数
Cisco 1861	2
Cisco NME	8
Cisco UC 500	2

例

次の例は、TimeCardView セッションの最大数を設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# maxsessions 2
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled

Maximum Sessions: 2
[...]
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
session-expiry-time	TimeCardView ユーザの IP 電話セッションの自動ログアウト時間を設定します。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
service timecardview session terminate	進行中のすべて、または特定の TimeCardView セッションをクリアします。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
show timecardview sessions	進行中の TimeCardView セッションを表示します。
show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

notification email address

データベースの使用率が特定のしきい値に達した場合（P.25 の「データベース設計に関するガイドライン」を参照してください）やデータベースのパーティションが発生した場合に、指定した E メール受信者に TimeCardView が自動的に通知するように設定するには、**notification email address** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

notification email address *name@domain.com*

シンタックスの説明

email address カンマで区切られた 1 つまたは複数の E メール アドレス。
name@domain.com

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

システムの制限文字数は（カンマを含めて）64 です。

データベース設計に関するガイドライン

システムは、毎日午後 11 時 30 分にデータベースをチェックします。TimeCardView が通知 E メールを送信するように設定されている場合、データベースの使用率が次の値に達すると、通知 E メールが送信されます。

- 使用率 70%
- 使用率 80%
- 使用率 85%
- 使用率 90%。この値に達すると、レコードが古い順に 70% 削除されます。最新の 20% のレコードは保持されます。このため、このタイプのパーティションが行われても、少なくとも 1 か月の最新データが確実に残ります。

例

次の例は、データベースの使用率がしきい値に達した場合やデータベースのパーティションが発生した場合に、通知 E メールが指定したユーザに送信されるように設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# notification email address
user1@example.com,supervisor1@example.com,payroll-specialist1@example.com
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
```

■ notification email address

```

Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 480
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 90

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):

user1@example.com,supervisor1@example.com,payroll-specialist1@example.com

se-10-0-0-0#

```

■ 関連コマンド

コマンド	説明
database purge schedule days	データベースをパージするスケジュールとデータの最低保持日数を設定します。
enable (TimeCardView 設定モード)	全体に対して TimeCardView サービスを有効にします。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
show timecardview users	TimeCardView のユーザを表示します。

payroll server quickbooks address

Intuit QuickBooks 給与管理サーバとの統合を設定するには、**payroll server quickbooks address** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

payroll server quickbooks address *hostname-or-ip-address* [**port integer**]

シンタックスの説明	port integer	ダイナミック ポート範囲の整数。デフォルト サーバ ポート番号と同じです。
	quickbooks address <i>hostname-or-ip-address</i>	QuickBooks サーバのホスト名または IP アドレス。

コマンドのデフォルト なし

コマンド モード TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴	TimeCardView バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが導入されました。

例

次の例は、QuickBooks 給与管理サーバとの統合を設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# payroll server quickbooks address qbserver
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Disabled

Maximum Sessions: 16
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1300

Payroll Server Type: QuickBooks
Quickbooks Server Address: qbserver
Quickbooks Server Port: 57343
Synchronization Schedule: Weekly
Sync Transfer Mode: All Timesheets
Sync Day: Saturday
Sync Time (HH:MM 24 hour): 22:00
```

■ payroll server quickbooks address

```
Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time (HH:MM 24 hour): 00:30

Notification Email(s): name@company.com
se-10-0-0-0
```

関連コマンド

コマンド	説明
payroll server synchronization schedule	TimeCardView と QuickBooks の同期スケジュールを設定します。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
service timecardview synchronize now	今すぐ TimeCardView を QuickBooks と同期します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。

payroll server synchronization schedule

TimeCardView と QuickBooks の同期スケジュールを設定するには、**payroll server synchronization schedule** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

```
payroll server synchronization schedule { daily | weekly day 1-7 } time hh:mm
timesheets { all | approved }
```

シンタックスの説明

all	すべてのタイムシートを同期します。
approved	承認済みのタイムシートだけを同期します。
time hh:mm	同期が実行される時刻を指定します。
weekly day 1 ~ 7	同期が実行される曜日を指定します。 1 = 月曜日 2 = 火曜日 3 = 水曜日 4 = 木曜日 5 = 金曜日 6 = 土曜日 7 = 日曜日

コマンドのデフォルト

なし

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

例

次の例は、QuickBooks 給与管理サーバとの同期スケジュールを設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# service timecardview
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# payroll server synchronization schedule weekly day 7
time 22:00 timesheets all
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# end
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Disabled

Maximum Sessions: 0
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0
```

payroll server synchronization schedule

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
 Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
 Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1300

Payroll Server Type: QuickBooks
 Quickbooks Server Address: qbserver
 Quickbooks Server Port: 57343
 Synchronization Schedule: Weekly
 Sync Transfer Mode: All Timesheets
 Sync Day: Saturday
 Sync Time (HH:MM 24 hour): 22:00

Purge Cycle (days): 90
 Purge Days-to-Keep (days): 30
 Purge Time (HH:MM 24 hour): 00:30

Notification Email(s): name@company.com
 se-10-0-0-0

関連コマンド

コマンド	説明
database purge schedule days	データベースをパージするスケジュールとデータの最低保持日数を設定します。
maxsessions	TimeCardView セッションの最大数を設定します。
payroll server quickbooks address	QuickBooks 給与管理サーバとの統合を設定します。
service timecardview synchronize now	今すぐ TimeCardView を QuickBooks と同期します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

service timecardview

TimeCardView 設定モードを開始するには、**service timecardview** コマンドを Cisco Unity Express 設定モードで使用します。

service timecardview

シンタックスの説明 このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード Cisco Unity Express 設定 (config)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

例 次の例は、**service timecardview** コマンドを使用する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# enable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
```

関連コマンド	コマンド	説明
	enable (TimeCardView 設定モード)	全体に対して TimeCardView サービスを有効にします。
	disable (TimeCardView ユーザ設定モード)	個々の TimeCardView ユーザに対して TimeCardView サービスを無効にします。
	show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
	show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

service timecardview purge now

TimeCardView データベースの即時パージを実行するには、**service timecardview purge now** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで実行します。

service timecardview purge now

シンタックスの説明 このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン 変更内容
7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

例 次の例は、TimeCardView サービスを無効にし、そのデータベースをパージする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# no enable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# service timecardview purge now
!!!WARNING!!!: This will *COMPLETELY ERASE* timecardview historical records. It is highly
recommended to backup timecardview before excecuting this command since it is
irreversible.
Are you sure you want to Purge? (y/n) [n]: y
Purge started successfully. Please check its status later.
se-10-0-0-0# show timecardview status
Service: Disabled
Active Sessions: 0
DB Status: IDLE
DB Usage: 0
Last Purge (04/12/2008 18:06:43):
Payroll Sync Status (dd/MM/yyyy HH:mm:ss):
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy timecardview timesheets url	CSV ファイルを生成し、FTP サーバにコピーします。
	database purge schedule days	データベースをパージするスケジュールとデータの最低保持日数を設定します。

コマンド	説明
notification email address	データベースの使用率がしきい値に達した場合やデータベースのパーティションが発生した場合に、指定した E メール受信者に TimeCardView が自動的に通知するように設定します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

service timecardview session terminate

進行中のすべて、または特定の TimeCardView セッションをクリアするには、**service timecardview session terminate** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

service timecardview session terminate { all | user *user-id* }

シンタックスの説明

all	すべての TimeCardView ユーザ。
user <i>user-id</i>	TimeCardView ユーザのユーザ名。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

進行中のすべてのセッションを表示するには、**show timecardview sessions** コマンドを使用します。

例

次の例は、セッションを表示し、すべてのセッションをクリアする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# show timecardview sessions
theirname1,
theirname3.
se-10-0-0-0# service timecardview session terminate all
se-10-0-0-0# show timecardview sessions
No active sessions.
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
session-expiry-time	TimeCardView ユーザの IP 電話セッションの自動ログアウト時間を設定します。
show timecardview sessions	進行中の TimeCardView セッションを表示します。
show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

service timecardview synchronize now

TimeCardView を Intuit QuickBooks と今すぐ同期するには、**service timecardview synchronize now** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで実行します。

```
service timecardview synchronize now timesheets { all | approved }
```

シンタックスの説明	説明
all	すべてのタイムシートを同期します。
approved	承認済みのタイムシートだけを同期します。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンド モード Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

例 次の例は、TimeCardView サービスを無効にし、そのデータベースをパージする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# service timecardview synchronize now timesheets approved
Payroll Sync started successfully. Please check its status later.
se-10-0-0-0# show timecardview status
Service: Enabled
Active Sessions: 0

DB Status: IDLE
DB Usage: 0
Last Purge (dd/MM/yyyy HH:mm:ss): 17/12/2008 10:06:25
Payroll Sync Status (dd/MM/yyyy HH:mm:ss): 20/12/2008 07:13:19
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	database purge schedule days	データベースをパージするスケジュールとデータの最低保持日数を設定します。
	payroll server quickbooks address	QuickBooks 給与管理サーバとの統合を設定します。
	payroll server synchronization schedule	TimeCardView と QuickBooks の同期スケジュールを設定します。
	show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
	show timecardview status	TimeCardView ステータスを表示します。

session-expiry-time

TimeCardView ユーザに対する IP 電話セッション自動ログアウト時間を設定するには、**session-expiry-time** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

session-expiry-time { supervisor | employee } secs

シンタックスの説明

employee secs	従業員が自動的にログアウトされる秒数。範囲は、60 ～ 600 秒 (1 ～ 10 分) です。
supervisor secs	上司が自動的にログアウトされる秒数。範囲は、60 ～ 600 秒 (1 ～ 10 分) です。

コマンドのデフォルト

上司および従業員が自動的にログアウトされる時間は、300 秒 (5 分) です。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

例

次の例は、自動セッション ログアウトを設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# session-expiry-time supervisor 600
se-10-0-0-0(config-timecardview)# session-expiry-time employee 120
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 600
Employee Session logout time (secs): 120
[...]
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
service timecardview session terminate	進行中のすべて、または特定の TimeCardView セッションをクリアします。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。
show timecardview sessions	進行中の TimeCardView セッションを表示します。

shift limit

TimeCardView ユーザが就業、昼食、休憩に費やす時間を制限するには、**shift limit** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

shift limit {work-duration | lunch-duration | break-duration } minutes 1-1440

シンタックスの説明

minutes 1 ~ 1440

TimeCardView ユーザが就業、昼食、休憩に費やすことができる、分単位の最大時間。

コマンドのデフォルト

TimeCardView ユーザは、就業、昼食、休憩の時間を任意の組み合わせで、合計して 1440 分（24 時間）とることができます。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン

変更内容

7.0

このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

従業員は TimeCardView にログインすると、状態を次のいずれかに設定できます。

- 就業
- 昼食
- 休憩

従業員が各状態で費やすことができる時間を制限できます。従業員が 1 日に費やすことができる最大時間は、いずれの状態に対しても 24 時間（1440 分）です。これらのパラメータを変更しない場合、従業員は合計で 1 日あたり 24 時間になるように 3 つの状態を任意に組み合わせることができます。

24 時間または設定した制限時間のいずれか短い方の時間が経過しても状態が変化しなかったユーザは、自動的にログアウトされます。

例

次の例は、従業員の状態に時間制限を設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# shift limit work-duration minutes 480
se-10-0-0-0(config-timecardview)# shift limit lunch-duration minutes 60
se-10-0-0-0(config-timecardview)# shift limit break-duration minutes 40
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 600
Employee Session logout time (secs): 120
```

```

Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 40
Maximum In-Shift Work Time (mins): 480
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 60

Payroll Server Type: QuickBooks
Quickbooks Server Address: 192.0.2.3
Quickbooks Server Port: 57343
Synchronization Schedule: Daily
Sync Transfer Mode: All Timesheets
Sync Time: 21:00

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 21:30

Notification Email(s):

se-10-0-0-0# copy running-config startup-config
se-10-0-0-0#

```

関連コマンド

コマンド	説明
copy timecardview timesheets url	CSV ファイルを生成し、FTP サーバにコピーします。
daily	TimeCardView ユーザの標準就業時間、時間外就業時間を制限します。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。

show supervisor

特定の上司の部下である従業員を表示するには、**show supervisor** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show supervisor *user-id*

シンタックスの説明

supervisor *user-id* 上司のユーザ ID。大文字と小文字が区別されます。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン 変更内容

7.0 このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

使用上のガイドライン

管理構造を検証するには、このコマンドを使用します。

例

次の例は、2 人の従業員、その上司、および上司の上司を作成して確認する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# username Juser20 supervisor designate
se-10-0-0-0 (config)# username Juser200 supervisor designate
se-10-0-0-0 (config)# username Juser10 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0 (config)# username Juser11 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0 (config)# username Juser20 supervisor username Juser200
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0 # show supervisors
Juser20
Juser200
2 total supervisor(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser20
Juser10
Juser11

2 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser200
Juser10
Juser11
Juser20
3 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser11
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser10
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser20
```

■ show supervisor

```
Juser200
se-10-0-0-0 #
```

関連コマンド

コマンド	説明
show supervisors	上司に指定されている TimeCardView ユーザの名前を表示します。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
show user supervisor username	指定したユーザの上司を表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。
username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。

show supervisors

上司に指定されている TimeCardView ユーザの名前を表示するには、**show supervisors** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show supervisor

シンタックスの説明

このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード

Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン 変更内容

7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。
-----	---

使用上のガイドライン

管理構造を検証するには、このコマンドを使用します。

例

次の例は、2 人の従業員、その上司、および上司の上司を作成して確認する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# username Juser20 supervisor designate
se-10-0-0-0(config)# username Juser200 supervisor designate
se-10-0-0-0(config)# username Juser10 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0(config)# username Juser11 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0(config)# username Juser20 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0 # show supervisors
Juser20
Juser200
2 total supervisor(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser20
Juser10
Juser11

2 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser20
Juser10
Juser11
Juser20
3 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser11
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser10
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser20
```

■ show supervisors

```
Juser200
se-10-0-0-0 #
```

関連コマンド

コマンド	説明
show supervisor	指定した上司の部下である従業員を表示します。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
show user supervisor username	指定したユーザの上司を表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。
username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。

show timecardview configuration

TimeCardView の設定を表示するには、**show timecardview configuration** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show timecardview configuration

シンタックスの説明 このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンド モード Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show timecardview configuration** コマンドを使用すると、次の情報が表示されます。

- TimeCardView サービスの有効性
- セッションの最大数
- 上司および従業員のセッション ログアウト時間
- 週が始まる曜日
- 1 日の最大標準就業時間および最大時間外就業時間
- 就業、休憩、および昼食に費やすことができる最大時間
- 給与管理サーバの設定 (TimeCardView GUI を使用して設定されます)
- データベースのページ スケジュール
- データをデータベースに保持する最低日数
- スケジュールされているページが実行される時刻
- データベースの使用率がしきい値に達した場合に通知が送信される E メール アドレス

例 次の例は、TimeCardView の設定を表示する方法を示します。

```
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
```

```
Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 600
Employee Session logout time (secs): 120
Week Start Day: Monday
```

```
Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0
```

show timecardview configuration

```

Maximum In-Shift Break Time (mins): 40
Maximum In-Shift Work Time (mins): 480
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 60

Payroll Server Type: QuickBooks
Quickbooks Server Address: 192.0.2.3
Quickbooks Server Port: 57343
Synchronization Schedule: Daily
Sync Transfer Mode: All Timesheets
Sync Time: 21:00

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 21:30

Notification Email(s):

se-10-0-0-0# copy running-config startup-config
se-10-0-0-0#

```

関連コマンド

コマンド	説明
daily	TimeCardView ユーザの標準就業時間、時間外就業時間を制限します。
database purge schedule days	データベースをパージするスケジュールとデータの最低保持日数を設定します。
enable (TimeCardView 設定モード)	全体に対して TimeCardView サービスを有効にします。
session-expiry-time	TimeCardView ユーザの IP 電話セッションの自動ログアウト時間を設定します。
maxsessions	TimeCardView セッションの最大数を設定します。
notification email address	データベースの使用率がしきい値に達した場合やデータベースのパージが発生した場合に、指定した E メール受信者に TimeCardView が自動的に通知するように設定します。
payroll server quickbooks address	QuickBooks 給与管理サーバとの統合を設定します。
payroll server synchronization schedule	TimeCardView と QuickBooks の同期スケジュールを設定します。
service timecardview purge now	TimeCardView データベースの即時パージを実行します。
shift limit	TimeCardView ユーザの就業時間、昼食時間、および休憩時間を制限します。

show timecardview sessions

TimeCardView セッションを表示するには、**show timecardview sessions** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show timecardview sessions

シンタックスの説明 このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンド モード Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、TimeCardView セッションをクリアする前、またはクリアした後に使用します。

例 次の例は、セッションを表示し、すべてのセッションをクリアする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# show timecardview sessions
theirname1,
theirname3.
se-10-0-0-0# service timecardview session terminate all
se-10-0-0-0# show timecardview sessions
No active sessions.
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	session-expiry-time	TimeCardView ユーザの IP 電話セッションの自動ログアウト時間を設定します。
	maxsessions	TimeCardView セッションの最大数を設定します。
	service timecardview session terminate	進行中のすべて、または特定の TimeCardView セッションをクリアします。

show timecardview status

TimeCardView ステータスを表示するには、**show timecardview status** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show timecardview status

シンタックスの説明 このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴	TimeCardView バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用すると、次の情報が表示されます。

- TimeCardView サービスの全体に対する有効性
- 進行中のセッションの有無
- データベースの動作の有無
- データベースの使用率
- データベースの最終ページ日時
- TimeCardView の最終同期日時

例 次の例は、データベースをページし、その後に TimeCardView ステータスを表示する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# no enable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# service timecardview purge now
!!!WARNING!!!: This will *COMPLETELY ERASE* timecardview historical records. It is highly
recommended to backup timecardview before executing this command since it is
irreversible.
Are you sure you want to Purge? (y/n) [n]: y
Purge started successfully. Please check its status later.
se-10-0-0-0# show timecardview status
Service: Disabled
Active Sessions: 0

DB Status: IDLE
```

```
DB Usage: 0
Last Purge (04/12/2008 18:06:43):
Payroll Sync Status (dd/MM/yyyy HH:mm:ss):
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
database purge schedule days	TimeCardView データベースをパージするスケジュールとデータの最低保持日数を設定します。
enable (TimeCardView 設定モード)	全体に対して TimeCardView サービスを有効にします。
service timecardview purge now	TimeCardView データベースの即時パージを実行します。

show timecardview users

TimeCardView ユーザのリストを表示するには、**show timecardview users** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show timecardview users

シンタックスの説明 このコマンドには引数やキーワードがありません。

コマンドのデフォルト このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンドモード Cisco Unity Express EXEC (#)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

例 次の例は、ユーザを追加した後に TimeCardView ユーザ名を表示する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# timecardview username theirname1
se-10-0-0-0(config-tvuser)# enable
se-10-0-0-0(config-tvuser)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview users
theirname1 [Enabled]
1 total timecardview user(s)
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	copy timecardview timesheets url	CSV ファイルを生成し、FTP サーバにコピーします。
	disable (TimeCardView ユーザ設定モード)	個々の TimeCardView ユーザを無効にします。
	enable (TimeCardView ユーザ設定モード)	ユーザごとに TimeCardView サービスを有効にします。
	show supervisor	指定した上司の部下である従業員を表示します。
	show user detail username	TimeCardView ユーザ特権に関連する詳細を表示します。
	show user supervisor username	指定したユーザの上司を表示します。
	timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。
	username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。

show user detail username

TimeCardView 特権が与えられているユーザに関する詳細情報を表示するには、**show user detail username** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show user detail username *user-id*

シンタックスの説明	username <i>user-id</i> TimeCardView 給与管理者のユーザ名。 <i>user-id</i> は大文字と小文字を区別します。
------------------	--

コマンドのデフォルト	このコマンドにデフォルトの値はありません。
-------------------	-----------------------

コマンドモード	Cisco Unity Express EXEC (#)
----------------	------------------------------

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン 変更内容
	7.0 このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

使用上のガイドライン	給与管理者特権が与えられている TimeCardView ユーザを確認するには、このコマンドを使用します。
-------------------	---

例	次の例は、給与管理者のグループにオーナーとメンバーを追加し、設定を確認する方法を示していません。
----------	--

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll
se-10-0-0-0 (config)# groupname tcv-payroll-specialists owner theirname1
se-10-0-0-0 (config)# groupname tcv-payroll-specialists member theirname2
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0# show user detail username theirname1
Username:          theirname1
Full Name:         Joe Theirname
First Name:        Joe
Last Name:         Theirname
Nickname:          Joe Theirname1
Phone:
Phone (E.164):
Fax:
Email:
Epage:
Language:          systemDefault
GroupMember:       <none>
GroupOwner:        tcv-payroll-specialists
Privileges:        <none>
se-10-0-0-0# show user detail username theirname2
Username:          theirname2
Full Name:         Jane Theirname
First Name:        Jane

```

show user detail username

```

Last Name:          Theirname
Nickname:           Jane Theirname2
Phone:
Phone (E.164):
Fax:
Email:
Epage:
Language:           systemDefault
GroupMember:        tcv-payroll-specialists
GroupOwner:         <none>
Privileges:         tcv-payroll
se-10-0-0-0#

```

関連コマンド

コマンド	説明
groupname tcv-payroll-specialists	給与管理者のグループにオーナーとメンバーを割り当て、給与管理者を作成します。
groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll	グループに TimeCardView 給与管理者特権を与えます。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。
username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。
username (E ページ)	上司が部下である従業員にテキストメッセージを送信できるようにするために、E ページアドレスを設定します。

show user supervisor username

特定の TimeCardView ユーザの上司を表示するには、**show user supervisor username** コマンドを Cisco Unity Express EXEC モードで使用します。

show user supervisor username *user-id*

シンタックスの説明	username <i>user-id</i>	TimeCardView ユーザの Cisco Unity Express ユーザ名。 <i>user-id</i> は大文字と小文字を区別します。
------------------	--------------------------------	--

コマンドのデフォルト	このコマンドにデフォルトの値はありません。
-------------------	-----------------------

コマンドモード	Cisco Unity Express EXEC (#)
----------------	------------------------------

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン 変更内容
	7.0 このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

使用上のガイドライン	管理構造を検証するには、このコマンドを使用します。
-------------------	---------------------------

例	次の例は、2 人の従業員、その上司、および上司の上司を作成して確認する方法を示しています。
----------	---

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# username Juser20 supervisor designate
se-10-0-0-0 (config)# username Juser200 supervisor designate
se-10-0-0-0 (config)# username Juser10 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0 (config)# username Juser11 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0 (config)# username Juser20 supervisor username Juser200
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0 # show supervisors
Juser20
Juser200
2 total supervisor(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser20
Juser10
Juser11

2 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser200
Juser10
Juser11
Juser20
3 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser11
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser10
Juser20

```

■ show user supervisor username

```
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser20
Juser200
se-10-0-0-0 #
```

関連コマンド

コマンド	説明
show supervisor	指定した上司の部下である従業員を表示します。
show supervisors	上司に指定されている TimeCardView ユーザの名前を表示します。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。
username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。

timecardview username

TimeCardView サービスを有効または無効にする個々の Cisco Unity Express 登録者を指定するには、**timecardview username** コマンドを Cisco Unity Express 設定モードで使用します。TimeCardView ユーザを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

timecardview username *user-id*

no timecardview username *user-id*

シンタックスの説明

username *user-id* 登録者の Cisco Unity Express ユーザ名。 *user-id* は大文字と小文字を区別します。

コマンドのデフォルト

このコマンドにデフォルトの値はありません。

コマンド モード

Cisco Unity Express 設定 (config)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン 変更内容

7.0 このコマンドが Cisco Unity Express ネットワーク モジュールに導入されました。

使用上のガイドライン

- TimeCardView GUI を使用して Intuit QuickBooks から従業員をインポートすることにより、TimeCardView サービスを提供することもできます。この方法でインポートされたユーザは、自動的に有効になります。
- 特定の TimeCardView ユーザを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

例

次の例は、特定の Cisco Unity Express 登録者に TimeCardView サービスを追加する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# timecardview username theirname1
se-10-0-0-0(config-tvuser)# enable
se-10-0-0-0(config-tvuser)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview users
theirname1 [Enabled]
1 total timecardview user(s)
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
disable (TimeCardView ユーザ設定モード)	指定した個々のユーザに対して TimeCardView サービスを無効にします。
enable (TimeCardView ユーザ設定モード)	指定した個々のユーザに対して TimeCardView サービスを有効にします。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
show user supervisor username	指定したユーザの上司を表示します。
username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。

user-interface phone-call

TimeCardView 電話ユーザ インターフェイス (TUI) の音声プロンプトを有効または無効にするには、**user-interface phone-call** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

user-interface phone-call { enable | disable }

シンタックスの説明	disable	enable
	TimeCardView TUI を無効にします。	TimeCardView TUI を有効にします。

コマンドのデフォルト TUI は無効になります。

コマンド モード TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴	TimeCardView バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

- TimeCardView には、ユーザがログインしたり 1 つの状態から別の状態に移行したりする際に操作説明を行う音声プロンプトが用意されています。
- TUI が無効かどうかを確認するには、**show timecardview configuration** コマンドを使用します。



注

TUI と電話画面のユーザ インターフェイスを混同しないでください。前者は電話で聞くことができます。後者は電話に表示されます。

例 次の例は、TimeCardView の TUI を有効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# user-interface phone-call enable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled
[...]
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
	show run	TimeCardView IP 電話インターフェイスのステータスを表示します。

user-interface phone-service

TimeCardView IP 電話の画面プロンプトを有効または無効にするには、**user-interface phone-service** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。

user-interface phone-service { enable | disable }

シンタックスの説明

disable	TimeCardView IP 電話の画面インターフェイスを無効にします。
enable	TimeCardView IP 電話の画面インターフェイスを有効にします。

コマンドのデフォルト

電話の画面インターフェイスが有効になります。

コマンドモード

TimeCardView 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

TimeCardView には、デフォルトで、ログインや 1 つの状態から別の状態への移行などのすべての操作を説明する、電話画面のユーザ インターフェイスが用意されています。



注 電話画面のユーザ インターフェイスを、電話ユーザ インターフェイス (TUI) と混同しないでください。前者は電話に表示され、後者は電話で聞くことができます。

例

次の例は、TimeCardView の画面プロンプトを無効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# user-interface phone-service disable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-service User Interface: Disabled
[...]
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
show run	TimeCardView IP 電話インターフェイスのステータスを表示します。

username

上司を作成し、従業員を部下として割り当てるには、**username** コマンドを Cisco Unity Express 設定モードで使用します。特権を解除したり、関係を解消したりするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
username user-id supervisor { designate | username user-id [ alternate | primary ] }
```

```
no username user-id supervisor { designate | username user-id [ alternate | primary ] }
```

シンタックスの説明

username user-id	TimeCardView ユーザのユーザ ID。ユーザ ID は大文字と小文字を区別します。コマンドでキーワード supervisor の前には上司のユーザ ID を、キーワード supervisor の後ろには従業員のユーザ ID を指定します。
-------------------------	--

コマンドのデフォルト

特に指定しない限り、上司は従業員の直属の上司になります。

コマンド モード

Cisco Unity Express 設定 (config)

コマンドの履歴

Cisco Unity Express バージョン 変更内容

7.0	このコマンドが導入されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

- 上司を指定した後で、従業員を上司に割り当てます。
- 従業員を、上司として指定されていないユーザに割り当てると、エラーメッセージが表示されます。
- TimeCardView ユーザではない従業員または上司を指定すると、エラーメッセージが表示されません。
- 従業員は、直属上司および上司代理を持つことができます。特に指定しない限り、従業員に割り当てた上司が、その従業員の直属上司になります。
- 新たに割り当てを行うと、以前の割り当ては解除されます。このため、以前の上司との関係は解消されます。
- 従業員をその従業員の上司にすると、エラーメッセージが表示されます。
- 循環した上司および部下の関係を作成すると、エラーメッセージが表示されます。
- **no username user-id supervisor designate** コマンドを使用すると、ユーザから上司の役割が解除され、直属の部下との関係が解消されます。
- **no username user-id supervisor username user-id [primary | alternate]** コマンドを使用すると、指定した従業員が指定した上司の直属の部下リストから削除されます。

例

次の例は、2人の従業員、その上司、および上司の上司を作成して確認する方法を示しています。

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# username Juser20 supervisor designate
se-10-0-0-0(config)# username Juser200 supervisor designate
se-10-0-0-0(config)# username Juser10 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0(config)# username Juser11 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0(config)# username Juser20 supervisor username Juser200
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0 # show supervisors
Juser20
Juser200
2 total supervisor(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser20
Juser10
Juser11

2 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser200
Juser10
Juser11
Juser20
3 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser11
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser10
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser20
Juser200
se-10-0-0-0 #

```

関連コマンド

コマンド	説明
show supervisor	指定した上司の部下である従業員を表示します。
show supervisors	上司に指定されている TimeCardView ユーザの名前を表示します。
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
show user supervisor username	指定したユーザの上司を表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。

username (E ページ)

上司が直属の部下にテキストメッセージを送信できるようにするには、**username** コマンドを Cisco Unity Express 設定モードで使用して、従業員に E ページアドレスを設定します。

username *user-id* *epage string*

シンタックスの説明	epage string	RFC-2822 の E メールアドレス。たとえば、name@company.com。
	username user-id	TimeCardView ユーザのユーザ ID。ユーザ ID は大文字と小文字を区別します。コマンドでキーワード supervisor の前には上司のユーザ ID を、キーワード supervisor の後ろには従業員のユーザ ID を指定します。

コマンドのデフォルト なし

コマンドモード Cisco Unity Express 設定 (config)

コマンドの履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更内容
	7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 各従業員に E ページが設定されていない場合、上司が部下にテキストメッセージを送信しようとする時、E ページアドレスが設定されていないことを知らせるメッセージが表示されます。

例 次の例は、上司がテキストメッセージを送信できるようにするために、従業員に E ページアドレスを設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# username Theirname1 epage sample@company.com
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show user detail username Theirname1
Username:                Theirname1
Full Name:                Sample Theirname
First Name:               Sample
Last Name:                Theirname
Nickname:                 Theirname1
Phone:
Phone (E.164):
Fax:
Email:
Epage:                    sample@company.com
Language:                 systemDefault
GroupMember:              <none>
GroupOwner:               <none>
Privileges:               <none>
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show timecardview users	TimeCardView ユーザのリストを表示します。
show user detail username	TimeCardView ユーザ特権に関連する詳細を表示します。
show user supervisor username	指定したユーザの上司を表示します。
timecardview username	TimeCardView サービスを有効または無効にする個々のユーザ、または削除する TimeCardView ユーザを指定します。
username	上司を作成し、部下となる従業員を割り当てるか、特権の削除または関係の解消を行います。

week-start day

週が始まる曜日を設定するには、**week-start day** コマンドを TimeCardView 設定モードで使用します。週が始まる曜日を月曜日にリセットするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

week-start day 1-7

no week-start day 1-7

シンタックスの説明

day 1 ~ 7	週が始まる曜日。 1 = 月曜日 2 = 火曜日 3 = 水曜日 4 = 木曜日 5 = 金曜日 6 = 土曜日 7 = 日曜日
------------------	---

コマンドのデフォルト

週は月曜日に始まります。

コマンド モード

TimeCardview 設定 (config-timecardview)

コマンドの履歴

TimeCardView バージョン	変更内容
7.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

週の開始曜日を設定するごとに、以前の設定は無効になります。

例

次の例は、週が始まる曜日を設定し、設定内容を確認する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# week-start day 3
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 600
Employee Session logout time (secs): 120
Week Start Day: Wednesday
[...]
se-10-0-0-0#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy timecardview timesheets url	CSV ファイルを生成し、FTP サーバにコピーします。
daily	TimeCardView ユーザの標準就業時間、時間外就業時間を制限します。
service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
shift limit	TimeCardView ユーザの就業時間、昼食時間、および休憩時間を制限します。
show timecardview configuration	TimeCardView の設定を表示します。